

鹿島学術振興財団 2016 年度 研究助成申請書

2016 年 月 日

注：本研究助成申請は、2016 年度中に選考、決定を行うが、
2017 年 4 月から 2018 年 3 月までの期間に行われる研究
を対象とする。
申請者は常勤研究者に限るものとし、大学院学生は対象
とはならない。

公益財団法人 鹿島学術振興財団
理事長 鹿島 昭一 殿

所属機関の名称は、大学院の研究
科、研究所まで記載のこと。

代 表 者 (申請者)	鹿島 太郎	①	写 真 ※画像データ可
所属機関・職名 <small>(学部・学科まで記入)</small>	〇〇大学大学院△△研究科 教授		
申請者(ローマ字)	Taro KAJIMA		
所属機関・職名(英語)	Graduate school of △△, 〇〇University・Professor		
最 終 学 歴 ・ 学 位	□□大学大学院△△研究科修了(工学博士)	現在の専門	建築学
生 年 月 日	19〇〇年〇月〇日 ※西暦で記入してください		
所属機関 所在地	(〒 -)	電話	
		E-mail	
自 宅 住 所	(〒 -)	電話	
		E-mail	

下記のとおり貴財団の助成を申請いたします。

記

1. 研究課題

研究課題名 (内容を具体的に示す課題名を記載)
※適宜記載してください。
英語

本申請書の研究を含む全体計画があれば、
そのために必要な期間を記入して下さい。
10年を超えるような計画は記入不要

2. 研究形態

研究の形態 (該当するものを○印でかこむ)	個人研究	<u>共同研究</u> (1名)	国際共同研究 (名)
		※()内は申請者を除いた人数	

注①：共同研究者数を()内に記載のこと。 注②：外国で開催されるシンポジウム等に出席するための外国旅費を得ることを主な目的とするものは、この研究助成の対象外とする。

3. 研究期間

全研究期間 (他財源による研究期間を含む)	2017年 4月 ~ 2020年 3月 3年間
--------------------------	-------------------------

注：この研究助成は、2016年度中に募集、選考、決定を行うものであるが、その研究の実施は2017年4月から2018年3月までに行われるものである。

4. 申請金額

(単位：円)

2016年度 助成申請金額	1	5	0	0	0	0	0
---------------	---	---	---	---	---	---	---

5. 当財団年度別助成希望額

(単位：円)

2016年度(上記4の金額をお書き下さい)	1	5	0	0	0	0	0
助成継続希望の有無(○印) <u>有</u> 無							
※助成継続を希望する場合は 2017年度の希望額をお書き下さい。	1	5	0	0	0	0	0
合計	3	0	0	0	0	0	0

注：助成は2ヶ年以内とする。2年目は中間報告書の提出によりあらためて内容を審査し、採否・金額を決定する。

6. 本研究に要する総経費

5. で記入した合計額を記入

(単位：円)

本研究全体に要する 全研究費の財源区分	期 間	金 額						
鹿島学術振興財団助成金	2017年 4月～ 2019年 3月	3	0	0	0	0	0	0
科学研究費補助金(申請中)	2017年 4月～ 2020年 3月	5	0	0	0	0	0	0
〇〇大学経費	2017年 4月～ 2019年 3月	4	0	0	0	0	0	0
	年 月～ 年 月							
	年 月～ 年 月							
	年 月～ 年 月							
	年 月～ 年 月							
計		8	4	0	0	0	0	0

科研費、他財団助成、大学経費等の助成等、ここに記入した研究費の財源は次ページの7. に詳細を記入のこと。既に助成を受けている、または決定している場合は7-2に詳細を記入する。

注：当財団及びその他の財源(例・大学経費、科研費、他財団助成金等)について今後必要とする財源を全て記載のこと。

(助成期間が終了したものについては記載の必要なし)

7. 当財団以外の機関の助成（6に記載の他財源は全て記入のこと）

7-1 代表者又は共同研究者が本研究に関連して他の機関に助成を申請した場合（予定を含む）は、その旨を記載してください。

（他の機関に助成を申請し、すでに助成が決定している場合は7-2に記載すること。）

申請先の機関名	研究費等の名称	代表者氏名	研究課題	申請金額(万円)	助成期間 年月～年月
日本学術振興会	科学研究費補助金	鹿島太郎	〇〇に関する研究	500	2017年4月～ 2020年3月

7-2 代表者又は共同研究者が本研究に関連して他の機関から既に助成を受けている場合は、その旨を記載してください(助成期間が既に終了しているものは記載の必要なし)。

機関名	研究費等の名称	代表者氏名	研究課題	助成金額(万円)	助成期間 年月～年月
〇〇大学	校費	鹿島太郎	〇〇に関する研究	40	2017年4月～ 2020年3月

代表者以外の連絡責任者	申請の研究内容、経費等について連絡・説明の対応ができる者。 氏名・所属・職までの記入が望ましい。
(ふりがな) 氏名	
連絡先(〒 —)	電話 内線
E-mail	

本機関所属の上記代表者が貴財団の助成を申し込むことを承諾いたします。

機関名 〇〇大学大学院〇〇研究科

機関長職名・氏名(職印) 〇〇研究科長 〇〇 〇〇

機関所在地(〒 —)

職印

※職印は必ず押印のこと
2016年 月 日

注：1. 機関長は、大学の場合は学長、大学院研究科長、学部長、研究所長のいずれかとし、その他の研究所等の場合は所長等とすること。
2. 申請書を推薦機関に提出する前に、必ず所属機関長の承諾を得ること。

- (1) (2) (3) (4)
8. 研究計画の要約（「問題の所在」、「内容」、「方法」、「期待される成果」を1ページ以内に要約。なお、「内容」には、独創的・先駆的研究か、新しいアプローチで行う研究か、応用研究か、等についても触れること。）

(文字は明朝体 10.5 ポイントを使用してください)

※上記(1)～(4)について簡潔に記載してください。

(文字は明朝体 10.5 ポイントを使用してください) の一文は記入時に消去してください。

9. 研究の目的（その意義・価値・構想理由等）

※研究を進める意義、価値、あるいはこの研究計画を構想した理由等について簡潔に記入してください。

10. 研究の実施状況（これまでの経過・進捗度）

※この申請書による研究計画を行うために、これまでに先行的研究、準備的研究等を行ってきたら記載してください。

11. 研究スケジュール（項目別）

※研究計画をどのように実施するかについて、進行スケジュールを具体的に記入してください。
旅費が必要となる現地調査、学会出席等は訪問先、目的、人数等を具体的に書いてください。

12. 2016 年度分申請助成金の使途内訳（使途別に具体的に記入）

(単位：円)

使途区分（内訳） ※記入時、記入例は消去して可	数量 (単位)	単 価	予算額
設備備品費（品名）			
○○計測用端末	2 台	50,000	100,000
小 計			100,000
消耗品費（品名）			
○○実験の試験体	3 体	20,000	60,000
○○解析ソフト	1 個	100,000	100,000
事務用品	1 式		30,000
小 計			190,000
旅費（事項）例○○に関する現地調査（行先△△）			
○○の現地調査（○○県○○市）2 名	2 回	60,000	120,000
○○学会発表（○○県○○市）1 名	1 回	50,000	50,000
小 計			170,000
謝金（事項）例調査補助 ○人×○日			
実験補助 5 人×10 日	50 人日	6,000	300,000
データ解析 2 人×30 時間	60 人時	5,000	300,000
小 計			600,000
印刷製本費（事項）			
論文印刷費・掲載料	1 式		100,000
小 計			100,000
その他（事項）			
外部委託費（○○の調査）	1 式	300,000	300,000
車両レンタル料（○○調査のため）	2 回	20,000	40,000
小 計			340,000
合 計			1,500,000

注：設備備品費の額は、申請助成金額の 30%を超えないものとする。

